

有宵会だより

第78号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

十二月・一月の運勢

気学では子十二月

十二月七日(大雪)節入

生氣

9	5	7
8	1	3
4	6	2

ア

天道

気学では丑一月

一月五日(小寒)節入り

破 天道

8	4	6
7	9	2
3	5	1

生氣



一 白水星の人の運勢

十二月筮―天火同人九四
一月筮―沢火革の九五

十二月の多忙さは目まぐるしい冷静に対処。頼まれ事は厄介事を含むので慎重に。仕事は手詰まり感あり相互交渉で解決。私事は一人で抱えずに手を借りる。金運控えめに飲食節制し歯と気管用心。

お正月はのんびりとはいかず気忙しい。人の出入りが多いので気遣いを忘れずに。子供からの孝行、お年玉間値上げと上位の引立て支援を得て吉。疲労、頭痛、血圧管理。

二 黒土星の人の運勢

十二月筮―地山謙の初六
一月筮―地水師の九二

歳末の騒がしさに負けず手堅く進める。何でも大雑把にならずキメ細かくまとめる仕事は積み残しをしない。前半は平凡後半は先方のペースに合わせる。金運上昇気味。健康面良好、呼吸器留意。

新年を家族仲良く和氣藹々に迎えましょう。社交面も爽やかで旧交を暖めて吉。本業第一に心掛け安定路線で無事。不意の消費と忘れ物など用心。気管系、流感、歯の手当。

三 碧木星の人の運勢

十二月筮―雷沢帰妹六五
一月筮―沢水困の六三

暮の新聞ニュースは驚くことが多い。わが身を大事に無理をしないで平穩に過ごす。気を遣い体調を崩さないこと。個々に愛情面が良いので楽しみ、支払関係は日時守る。風邪熱、血圧、動脈硬化。年末年始は気負いたたず気楽な態度でいきたし。公私にわたり守備を固めるのが得策、打って出るのは邪魔が多く不快。資金活用は下降気味傾向。足腰痛、疲労が続き養生。

四 緑木星の人の運勢

十二月筮―地雷復の六五
一月筮―水沢節の九五

十二月のカレンダーは早く過ぎる。先を急ぐより整理整頓に着手。仕事は予定変更あり軽く済ませる。対人関係で意見が合わなければ妥協、深入り禁物。家計は無駄防ぐ。健康面は予防と回復策で。新年のお祝いは小さいが心からの喜びあり。旧を守り新規プランは曲折気味もう一度再考を。書類やカードなど不注意さける。感情的にならず平穩に目と歯、血圧対処。

五 黄土星の人の運勢

十二月筮―地沢臨の六五
一月筮―天地否の九五

十二月は忙しさが募るので休まずに進む。活気倍して意気上がるが冷静さを忘れず。仕事は筋書き通りで着実に実を結び、ムダ骨に見えて後日に光あり、書類は要チェック。風邪熱怠さと持病管理。一月、気持ち新たに今年の方針を固めることです。心機一転のつもりで初詣に祈る。習慣を尊重し家族の絆を深めたい。足腰、腎臓、風邪等用心。

六 白金星の人の運勢

十二月筮―天地否の九四
一月筮―天沢履の初九

前月の多忙が十二月も続く。気迷い多いが愚痴を言わない、自己本位を戒める。外部の目下や部下に親切心、家では親子の絆を結ぶ。年末の整理は早めに着手を。冷えを避け温存、肩腹膝の手当。恒例のお正月、静かに過ごすことになりそう、長期難問は急がずに待つのが賢い。女性上位で万事が吉、気が合わなくても親切心が良薬、食材により胃腸と免疫を鍛える。

七 赤金星の人の運勢

十二月筮―雷地予の初六
一月筮―山天大畜の初九

年末多忙の対策はまず予定表から細かく順番に処理。実家や親戚との付き合いを大事に。愛情面は優しさ表わす、ただ安易な約束は後日苦勞をしやすい。収支計算が大切。不規則生活と胃腸に注意。一月、初日の出を見て夢を託してみたい。意欲的に一歩進むこと。他人に頼らず自力で開拓し新チャンスをつくる。未来志向で運を呼びたい。適度の運動と体調維持管理。

八 白土星の人の運勢

十二月筮―山天大畜上九
一月筮―山沢損の六三

十二月は今年の締めくくりで結果を見つめる。職場で潤滑油となりチームワークに徹するとき。家庭は用事多く気疲れが続く。人生には焦りは禁物、毎日を大事に生きる。健康面は自己管理で守る。新年の喜びを得るのが一月、新しい出会いが待っている。我を張らず柔軟さで周囲に明るさを示すのが賢い。交際面は有益で協力を得られる。冷え風邪、皮膚湿疹など。

九 紫火星の人の運勢

十二月筮―雷風恒の九三
一月筮―沢雷隨の初九

十二月は年越しの月、過密スケジュールを避け公私共に笑顔大切、下旬は骨折れ損でも我慢、除夜の鐘をきいて安堵、身近な人を大事にし、自分の生活や考え方には誇りを持つ。財布を守り吉。体調は活気があり安泰。一月は新春の開運祈願。家族に心豊かなご挨拶、ラッキーな情報が舞い込むなど吉。心の葛藤は抑える努力する。責任者で活躍し実力を表わす。金運は上向く。胃炎、歯、神経、ストレスに留意。

福田 有宵

半紙に包み枕の下に置いて寝ますと良く眠れます。肝臓癌末期の方でお水を飲めませんでした。口を拭いてあげるだけで楽になったということもありました。

(十)木の葉採りについて(資料十一頁を参考にしてください)頂く時には木に「一枚頂きます」とお願いすると、葉が揺れて返事してくれますので話しかけてみてください。ご神木には抱きついで深呼吸すると良い気を吸収できますので恥ずかしがらずにやってみてください。

(十一)庭木について南には柿・棗・梅・桜・松・竹・杉が吉木です。南西には金木犀・棗・梅。西には槇・クチナシ・柏。西北には無花果・棕櫚竹。金柑・銀杏・榆・萩。北には椿。北東には大木は植えないこと。東には桜・梅・合歓木・槐が吉木です。柳は精神病になるので植えないように又西には桃の木は良くないと言われています。

(十二)転居での効果 成功したい人へ八白の北東方位が吉の時。人気・信用はく三碧・四緑方位

但し定位と同じ(五黄中宮の時)北東八白、東三碧、東南四緑は使わない、以下各方位全て定位と同じ五黄中宮の時は使えません。有名になりたい人へ九紫方位。良縁はく四緑・七赤方位。金策はく六白・七赤方位。部下運はく一白方位。子供運はく一白・六白・八白方位。商売運はく三碧・四緑方位。不動産運はく二黒・八白方位。受験合格はく六白・九紫方位です。

人間の病は、大欲や傲慢な人はリウマチ・疝の虫・筋違い・痛風になります。いつも腹を立てている人は脚気・骨折・骨の異常。何でも欲しがる人は、やぶ眺み・そこひ・白内障などの眼病。大欲は痔病・子宮下り・息切れ・腸カタル・肝臓病。人を恨むと田虫・疥・黒子やソバカスが増えたり

の皮膚病。けちな人は立ち眩み・癩癩・痛風・発熱・逆上。人を憎むと耳鼻咽喉の病・呼吸器・喘息・肺・風邪などになります。秩父のお水取りは34番札所の水潜寺は延命水で有名です、温泉に入ると身体が楽になりますのでお勧めします。

(十三)縁切りの方法

これは秘伝です、豆腐一丁・蛤一個・白身魚の刺身三切れ・安全カミソリを供え、あら塩の中に線香を立て一日一回火をつけて二十一日間誰にも見られない処で祈願します。二十一日間ですので生物は腐り嫌な臭いがしてきますが続けてください。終わりましたらカミソリや器は危険物に出し、他の物は川に流します、流した後は後ろを振り向かないで帰ってきます。他に縁切りには、京都鞍馬寺の水・新潟村上の独鈷水・栃木県塩谷の佐貫観音の水を飲ませると縁がきれえます。以上で横小路先生のご講演が終了しました。以下は福田先生から、お礼のお言葉と補足ご指導です。



横小路先生は、主に祈禱をして身体を張って沢山の人を助けてあげています、相談者の中には人の力では手に負えない事

もあるので神仏に頼ることがあります。占いは専門的知識を学び、それを応用するので嫌な気を受けることは少ないが、気を置いていかることはあります、辛い悩みを鑑定所やその場所に置いていかれた時、その気がどう変わるか解れば良いがなかなか難しいです。他に神道や修験道などで使われていたり、呪いで使われている秘符(神符・道符)があります。人の悪口や中傷を除く秘符に急(口へんあり)急如律令があります、因縁のある所に入る時など声を出して申し上げると払うことが出来ます。この秘符に書かれている文字の上の口二つは口、次の大日

と口は大日如来又はお日さま、尸は屍、鬼の文字は鬼の道を表しています。秘符を自分で書く時は布でマスクのように口を塞ぎ息を吹きかけずに一気に書きます。いじめに対して勇氣を持つ秘符も同じように作り、お守り袋に入れて持たせると良いです、飲ませる事もあります、現在でも病氣などに菓鴨地蔵の護符を飲んで

いる方もおりますがそれで治るとは言い切れな

☆水子供養について

仏教ではどう見ているかと言うと、お釈迦様は水子はありませんとおっしゃっています。お寺には水子供養とか水子地蔵があり仏教の本質とは違いますが、水子の霊体の供養・仏様の供養としてあるわけです。水子は親子関係に影響すると言われ次の子供に出ると言われています。千葉の道成寺のお地蔵様は水子をお祀りして風車が沢山あります。恐山や山寺など深い山に入ると山はこの世とあの世の堺になりますので、子供の供養の為にさせていただきます。

☆土地の清めの方法

横小路先生の東西の土地を祓って、その次に両鬼門を祓うというやり方は陽と陰を結びつけることで良いと思います。一般的には陽の廻りを主としていますが、物事によっては陰の廻りもあります。病氣や怪我は生命力をい

も必要なのです。東は陽の気を含み命の水を与え

るようになります、お水取りの水も東を向いて飲むか吉方位を向いて飲むことが望ましいです。又吉方位の水は生水ですが山の水は変化しにくく海の近辺の水は変化しやすく三日位で味が変わりやすく、冷蔵庫に入れ冷たくすると飲みやすくなります、特に病人には飲みやすくしてあげると良いでしょう。夏の水は変質して水に中ることがありますので注意してください。寒の水は一年位変わらな

☆木の葉採りについて

木は葉は五行では木気になります、ご神木は東西南北一廻りして南に立ち、どこの葉を頂くかが大事ですから磁石を持ち方位を見る、頂く方位で意味が変わってきます。木には葉・幹・根があり生命力は根から始まり幹を伝わり葉にエネルギーが行きます、葉は小さいですがしっかりとしたエネルギーがあります、自然から頂く物は誰でも恵みを受けますが、葉が散り土に帰ります木火土の作用がありますので誰で

も良いということでは無いとも言われています。

☆土地を買う時の補足

土地を求める時にその土地で三回半廻るのは、どういう意味かと言いますと何事も起点があり結び目があるということ、満願成就の願いをかける時は結び目をつける大事な意味からです。

☆お水取りについて

川の上流の水を頂くことも良く、川の水は流水です。三尺(約一メートル)流れれば水は清まると言われています。成人男性は60%女性は55%肥満した成人は44%体内に水分があります。十日以上水を飲まないと身体が続かない、吉方の水を九日間飲むことは九星の遁甲からですが、このようなことから考えられます。中国では泉という文字は日本での滝の水ですが、落ちてくる水を採水するのは大変です。から広口の器で採り、入れ替えるの良いでしょう、中国では水が一番が山の水↓川↓井戸の順が良いのですが日本は水質が良いので井戸の水が良いです。霊水は心からお願ひする気持ちがあれば

ただの水と変わらないのです、心が入るから霊水となり清らかで美味い、日本酒の会社は良い水を選んでいきますので酒造会社に水を頂くのも良いですが簡単に頂くのは有難みを感じませんので、ご神水など心からご挨拶して頂くと味が違います。

吉方の水は、本人だけで方位の合わない人は飲めないとはどういう事か疑問に思ったことはないですか、思わないのは素直で良いことですが考えることも必要です。人の一生は限られています、限られている中で生かされているので、個々に違う物を求めて精一杯の努力に効果を与えてくれるという事なので。吉方の方角だけで良し悪しを決めるのは素直で良いことですが違う見方をし、この水がわが身に何を与えてくれるかを考えることも大事なことです。他に水占いもあります、器に水を注いで水が落ち着くか、さざ波が立つようになるか又水が増えるように見えるか減るよう見えるか、水の色はどんな感じか濃淡など八卦でどの部分に変化して見え

るか、吉方位の水を器に入れ答えを出してみる、飲むだけでも良いがこのような水占いをしてみるのも勉強になります。

☆縁切りについて

先ほど横小路先生から縁切りの秘法のお話がありました。夫婦の問題などでもありますが、アルコール依存症などの相談では、酒を断つようなことを勧めますが乱暴やストーカーなどのようにどうにもならなくて縁を切らなければならぬ時に救いを求める人の為に秘法を使うことになりました。

第二部

「人生の道を広めて」

加藤浩美様

本日は有宵会の講演会に参加させていただきます、有難うございます。横小路先生からご縁をいただきまして過去二回参加させていただきました。今回は拝聴するだけでなくお話ししてくださいとのこと、上手くお話しできる自信もないのですが、価値観や生き方が多様化している現在、私のような市井の者の人生観・人生経験でも諸先生方皆様のご参考にしていただけ

ればと思いい、お話しさせていたただくことにしました。さて「吉凶は動より生じる」という言葉があるのですが、人生を振り返ってみますと私の転機は十年少し前の転職から、人生の流れが別の流れとなり動き始めた様子がします。バブルも終り過去の時代となったことを皆が自覚した頃、勤務先の会社も事業の構造改革をせざるを得なくなりました、早期退職者の多いなか幸い都内の事業所に移動先が見つかり転職することができましたが、小さな部署でしたので濃密な人間関係から距離を置くことができず精神的に本當にきつい時期でした。奈落の底にいて、もがいても出ることが出来ない気持ちだったことを覚えています。何故自分はこんな苦しいのか？我欲や煩惱のせいなのか？自問自答を繰り返していた時期でした、答えを求めて神社仏閣や美術館などいろいろ歩いていました、鎌倉の円覚寺の座禅会にも呼ばれているような感じを受けて出かけた。この転機は自分の

仕事のキャリアについても考える機会になりました、そんな中で出会った言葉が計画された偶発性理論(ブランドハプスタンス)です。米スタンフォード大学のジョン・D・クランボルツ教授が20世紀末に提唱したキャリア理論で、個人のキャリア形成は予期せぬ偶発的な出来事に大きく影響されるものであり、その偶然にたいして最善を尽くし、より積極的な対応を積み重ねることによってステッアップできるという考え方は辛いです。その当時の状況は、勇気づけるために今の自分の状況はブランドハプスタンスであると自分に言い聞かせるように、常に意識して行動する様にしていました。「具有性」「セレンディピティ」という言葉も意識していましたが、セレンディピティ(イギリスの童話、セイロンの三人の王子の物語)王子達は旅の途中いつも意外な出来事と遭遇し、彼らの聡明さにより彼らもともと探していなかった何かを発見する。具有性とは偶然と必然がまじりあっている状態、偶然

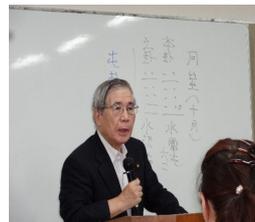
であり必然である。そうこうしているうちに経済環境は増々悪くなり異動した部署も廃部になりましたが、思いもしなかった本社に移動でき良い査定評価もいただき、リーマンショックの際も生き延びることができました。都落ちのような気持ちでの転職でしたが、まさに禍福はあざなえる縄のごとしや人間万事塞翁が馬という言葉が実感できるような結果となりました。先にお話しした、計画された偶発性理論、セレンディピティ、具有性という言葉は「禍福は糾える縄のごとしや人間万事塞翁が馬」という東洋の故事成語につながっているように思います。又一番辛い時期に円覚寺の座禅会で伺った「啐啄同時」という禅語があります(啐・雛が卵の外に出ようと殻を内からつくこと、啄・母鳥がそれに応じて殻を外からつくこと)両者が一致し初めて雛は誕生することができ、これになぞらえ仏教の修行において師弟の呼吸が合って、初めて悟りの境地へ導くことをいうそうです。何故か心に残

り書き留めていた禅語ですが、いろいろな意味を当時の私に投げかけていたように思います、転動前は狭い世界の中でいろいと物事を考えていたようでいて実は深く考えていなかったのではないのか、そんな狭い自分の世界の枠や殻を破り世界を広げ、一回り大きく成長し飛び立つように促すメッセージだったのではないのか、また私自身も心の奥底で変わりたいと思っていたのではないかと、転動した当初の辛い時代の経験が殻を破り世界を広げてくれるきっかけになりました。もう一つ円覚寺で伺った禅語に「虚舟浮かぶ」大正時代の言論人が唱えた禅語のお話しでした、虚は虚空菩薩の虚、舟は小舟のことで何もない空っぽの状態の小舟をいうようですが、ただの空っぽの舟ではなく荷物を一杯に積んだ小舟が荷物を空にしてさっぱりとした後に、さあーっと吹き渡る爽やかな風のような心持ちを言うそうです。これは晴れて本社に異動できた後に伺った禅語です、私も本当に爽やかな気持ちになりこれ

からの人生は、自分の思いやいろいろな物で一杯だった自分の小舟から荷物を降ろして、爽やかな心持ちで残りの人生を生きて行きたいと思えました。これからの人生は仕事以外の今まで経験していなかったことも経験していなければと思っています、家族や皆様を幸せにしていきたいとも思っています。自分の思惑や力を超えた見えない力でここまで生かされて来た様な感じを受けています、助けていただいた皆様や関係する皆様、いろいろの物事への感謝の気持ち忘れずに生きて行きたいと思っております。平成二十五年の有宵会で日蓮宗、功刀貞如ご上人様のご講演の後に福田先生より、仏教とユング心理学・シンクロニティのお話があり大変驚きました、私が辛い時期にじっくりとなじんできたものが、仏教とユング心理学でした。易の世界とユング心理学・シンクロニティが関係があるとは当時は存じあげませんでした、ユングがシンクロニティという概念に至ったきっかけとなったのが易との

出会いであったことを後に知り本当に驚きました。以上です、ご清聴有難うございました。

第三部
「月筮による運勢判断」
福田有宵先生



十月 水雷屯六二

屯は四難卦で物を生む時の苦しみ。運氣は止まるので慎重に、突き進んではいけない、本人は何かと抗いたくなるが自重することです。仕事では優秀な五爻の上司が指示せずに上手に育てようという様子を見ている。前半は慌ただしい、初九の陽を部下とみて部下の良い所と協力すると良い、仕事は時間が掛かり焦り伸び悩む時は、五日十日後に上司に相談する(三・四・五爻の良でこちらを向く)又、上司の前で早口になるのでゆっくり喋るように。健康面では、屯は食事が聞えるのでよく噛んで飲み込むように

しましう。之卦の水沢節は必要な事だけ守るようにし月初に手を付ける事あり、従来の仕事に加える仕事です、部分的にまとめていくと良いでしょう、背伸びしてはいけません。

十一月 天山遯上九

終了時間になってしまい、十一月の月筮のご指導はいただけませんでした。横小路先生、加藤様、福田先生ご丁寧なご講演、有難うございました。

半田晴詠



名水を訪ねて

大川法祥先生

水は地球に存在するすべての生命の根源です。誕生した時から水の恩恵を受け乍ら生きてきました。水の形態は、川や滝・池・井戸・湧き水などの多岐にわたりますが、名水は信仰心に培われたものが多く、地域の信仰の対象となってきました。そして、地元の人々が水にまつわる文化や伝統を守っていきこうという高い意識をもって、今日迄受

け継がれているのです。全国に名水は美しい自然に恵まれ点在していますが、今回は中部・近畿地方にスポットを当て、調べてみました。



那智の滝

古くから人々に崇められてきた神聖な滝。源流は、全域が吉野熊野国立公園の一部である。那智山の那智原始林。平成十六(2004)年には、一帯の神社と共に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。毎年、夏と冬の二回行われる「御滝注連縄張替行事」は、古くから続く神事。御神体である滝そのものを拝み、滝の飛沫に触れば長生きできると伝えられています。

居醒の清水 (滋賀県米原市)



日本武尊が体を癒したとされる霊水。中山道六十一番目の宿場町。加茂神社境内脇の石垣の下から湧き出ています。豊富な水量を誇り、中山道を行き交う人々の喉を潤したのはもちろん、「日本書紀」や「古事記」では伊吹山の荒ぶる神の毒気にあたった日本武尊が体を癒すのに用いた霊水「居醒の清水」として書かれています。

米原市には、日本百名山の伊吹山。南には、霊仙山がそびえており、市の六割をしめる森林に水が蓄えられ、湧水となり川となって琵琶湖に注ぐ水の町です。

堂来清水 (滋賀県長浜市)

神秘的な薬効も伝えられる神聖な薬用水。古くから地域住民にあつく信仰されてきた。

「堂来地蔵尊」から湧き出る清水。

その水源は、千百年以上も昔、干ばつで農民が餓死寸前になった際、市北東部にある野瀬の天吉寺山の草庵の一つ「月の坊」という寺の住職が農民と一緒に池に住む白龍という竜神に雨乞いをしてたところ、麓の堂来に水が湧く様になったといわれています。

この伝説から別名「白龍霊水」といわれ、薬用水としても人々に愛飲されています。

水汲み場等はなく、湧水地はただ堂来地蔵尊の近くに水が湧きだすのみ。地元自治会を中心に保全活動が行われています。

山比古湧水（滋賀県愛荘町）



語り継がれてきた秘水が美しい渓谷を作り出す。山の途中に鎮座する小さなお堂「山比古地蔵尊」にあやかった名前。水は鈴鹿山系の山裾を流れる宇治川の源流に近い湖東の流紋岩帯を通って地表に湧き出ており、古くからお伊勢参りの旅人や山で仕事をする人々に大切に守られてきました。湧き水は滋賀県の東部を流れる一級水系、宇治川の源流に合流しています。

上流には、「観世音菩薩の滝」があり、下流に広がるのは川が作り出した肥沃な田園風景です。下流地域では、清酒や醤油、漬物や清涼飲料水等にも湧水が一部使われています。

大杉の清水（京都府舞鶴市）

大杉神社には樹齢八百年を超える大きな杉が立っています。その昔、この地に舞い降りた大蛇が清



水を飲むと不思議な力に満たされ、三木の杉を巻き締めて一本の大きな杉にしたと伝えられているのです。この伝説にちなみ、毎年夏には清水に感謝する祭りが行われています。青葉山の中腹に位置する大杉の清水。他に佇む古刹には和銅元（708）年に開かれたと伝わる「松尾寺」があります。（西国二十九番札所）

松尾大社の裏から湧く「亀の井」



松尾大社は、太古の昔から住民が松尾山の山霊を生活の守護神として祀っていたのが始まりと伝えられています。本殿裏手の山から湧き出す岩清水は昔から「亀の井」といわれ、石臼のような水槽に引かれ、亀の口元から水が流れ出ています。亀は、長寿の象徴であるところから、地元では長寿の水として親しまれている他、

茶道・書道にも用いられ、東京から水汲みに来る書道家もいると言われています。松尾大社の「御神水」といわれ、全国の酒蔵の信仰を集めています。酒の元水として、仕込み水に混ぜると良い酒が出来る霊水として崇められています。

観音正寺の「閻伽の水」（滋賀県）



住職の枕元に観音様のお告げ

琵琶湖の東、織山の山上にある古刹・観音正寺は寺伝によれば用命天皇の勅願により推古十三年に聖徳太子が創建した近江国十二ヶ所の祈願寺の一つ。聖徳太子自ら千手観音の像を刻み、この地に安置したといわれています。然し、平成五年五月二十二日日本堂と本尊が一夜のうちに火災により焼失し

てしまいました。水の利が悪い山寺の悲劇でした。以来、債券復興に努めて、平成十六年五月に本堂が復興しました。インドから特別に輸入が許可された総白檀の世界一大きな観音「丈六千手千眼観世音菩薩」を建立して、落慶法要が行われました。その本堂復興の工事中に、岡村潤應住職の枕元に観音様が現れ「再興の本堂に（閻伽の水）授けよう。本堂横に井戸を掘るように」と告げられました。工事関係者の「水は、ま

ず無理」という言葉を制して観音様の言葉通りに本堂横を掘ると、平成十三年二月二十二日、掘ること百メートルの所で突如として水が湧き出したのです。住職は「これぞ観音様のお告げの霊水」と感慨を新たにし、この水を「閻伽の水」として広く参拝者にふるまいました。毎分七十リットルが湧き、細菌ゼロの良質な水だそうです。以前は山からの「絞り水」といわれる少量の湧水と雨水を生活水にして不自由だったのに閻伽の水が湧き出してから、境内の庭の池は満々と水を漙えています。

楊谷寺の「独鈷水」（長岡京市）



水無瀬川の上流域の府境の山中にある楊谷寺は大同元年（806）に京都清水寺の開祖・延鎮僧都によって開山された古刹です。創建した僧都は、ある夜、夢の中に観音菩薩が現れ「京都西山に行けば、生身の観音菩薩を仰ぐことができる」とお告げを受けました。直ちに西山に踏み入り、柳の生い茂る溪谷の巖上に、お告げ通りの生身の観音様を発見しました。これが本尊の柳谷観音といわれる一面千手千眼観世音菩薩だということです。

石畳の参道から境内に入り、本堂横の通路を進むと「独鈷水」の堂があります。

この水は弘法大師ゆかりの水で、寺の由緒によれば『当山開山延鎮僧都が清水寺に帰られた後、弘法大師が長岡の今里にある乙訓寺の別当として入山され、度々当山に参詣し、観音菩薩を拝されていたが、或る時、堂の傍らの巖窟の溜り水のそばに、親子の猿を見つけられました。よく見ると、盲目の子猿の目を親猿が一生懸命洗っていました。猿の親子は毎日やって来て、同じ動作を繰り返して、同じ動作を繰り返して、十七日目に子猿の目はパツチリと開き、親猿と共に嬉々として、山に去っていききました。大師は、この光景を見て、その不思議な湧き水を眼病に悩む人々のために靈験効かなる霊水にしようと決意されました。』という、弘法大師が見た、子猿の目が治った不思議な話です。

〔錦天宮の御神水〕(京都)



京都河原町にも近い錦市場と新京極。この商店街のどこどころには寺社仏閣、軒先にはお地藏様が建立され、京都らしい風情を醸し出しています。寺町京極と新京極にかかる場所の一角に鳥居を構えるのが錦天満宮であります。菅原道真を祀る平安時代からの由緒ある古い神社ですが、豊臣秀吉の時代に都市整備が行われて、この地に移転しました。

合祀する菅原道真は、平安時代の学者であるから学問・知恵・商才の神様「錦の天神さん」として地元では親しまれています。

境内にある「御神水」は、地下三十数メートルから汲み上げられ昔から「京の名水」として知られています。その水は境内の二ヶ所の手水に引かれ、参拝者に振る舞われています。水温は十七度と年間を通じて変わり紙つきです。

都会のど真ん中の自然水を「靈験」と共に味わいたいものです。

〔紀三井寺の三井水〕

(和歌山市)



西国三十三ヶ所観音霊場の二番札所として知られ、正式には紀三井山金剛宝寺護国院といえます。今から約千二百年前、唐の僧、偽光上人によって開基され、境内に「清浄水」「吉祥水」「楊柳水」の三つの井戸があるところから名づけられました。

「清浄水」は山門をくぐった石段の途中に小さな滝となつて流れ落ちています。この水は、この寺のシンボルの様な存在です。ここから少し離れた所には「楊柳水」の立派な水舎があります。「吉祥水」は境内を出て四百メートル程歩いた山の途中にあります。この三つの名水は信仰心篤き地元の人々に名水として利用されています。

〔園城寺(三井寺)〕(滋賀県大津市)



大津市の「三井寺」は天台寺門宗の総本山です。天智・弘文・天武天皇の勅願により、弘文天皇の皇子・大友与多王が建立されました。俗に三井寺と呼ばれるのは、天智・天武・持統天皇の産湯に用いられた霊水があり、「御井の寺」と呼ばれていたものを後に智証大師が当時の厳儀・三部灌頂の法水に用いられた事に由来します。金堂西側にある「閻伽井屋」から今も湧き出る水そのものが御井そのものといわれています。霊水「閻伽井屋」の正面には左甚五郎作の龍の彫刻があり静かに三井寺を守っています。

「養老神社に湧く「菊水」」(岐阜県養老町)



「白髪が黒々となった孝子伝説」
菊水泉は養老神社の境内から湧出る「霊水」で山肌の岩の隙間から湧き出しています。泉には「菊水霊泉」という看板があり、泉の周辺には聖地として注連縄と石柵が巡らされて立ち入り制限されています。
泉の水は、参道の下を潜り、すぐ近くの水場に流れ注いでいるため、ここで水を飲んだり汲んだりする事ができます。泉からの水路は水場から参道を下り、参道の石段の脇に流れ、ここにも水汲み用の桶があります。
この水は、「孝子伝説」で有名。その昔、美濃に住むきこりが山中で酒の香りのする泉を見つけました。老父の好物とあって汲んで帰り飲ませたところ、白髪は黒々となり、すっかり元気を取り戻しました。以来「老いを養う若返りの水」と都にまで知れ渡り、元正天皇行幸の際に、年号を養老と改めたというのが「古今著聞集」にある孝子伝説であります。湧き出した水は、養老山系の石炭層を通り、カルシウム・マ

グネシウムを含み、ほのかに炭酸の味がして美味しいそうです。日本古来のミネラルウォーターと似たところでしょうか。
〔千合谷近くに湧く「解雷ヶ清水」〕(福井県越前市)



越前市の市街地は北国街道と九頭竜川の支流の一つ日野川に沿っての扇状地にあつて、地下水も豊富。市内にはかつて「お清水」といわれる湧水も存在していた「水の町」でした。市街地を離れると、まだまだ湧水が多く点在しているその一つが「解雷ヶ清水」です。

言い伝えによると、千四百年程前、朝鮮半島の争いを逃れた百済の国の「自在女」が越前海岸に上陸しました。武生を目指す途中で従者が喉の渇きを訴えたので自在女が念仏を唱えた所。雷鳴と共に落雷があり、その岩間からこんこんと湧き出したという伝承があります。

す。

時代が下がってからは「ポテさん」といわれたハマから府中へ魚を運ぶ女性達がこの峠の清水で一息入れ、魚を冷水に浸して鮮度を保ち乍ら売り歩いたという事です。清水の名は、雷信仰を祀る解雷ヶ清水不動によったものと言われています。清水は深い森から湧き出し、社殿横の泉に注いでいます。その辺りは聖地として立ち入り制限され深い森が幽玄なる雰囲気醸し出しています。

〽深山幽谷・赤目四十八滝〽(三重県名張市)



「赤目四十八滝」は、古くから霊地として人々の信仰を集め、参拝者や修行者が参詣し、修行する場所でした。奈良時代には、修験道の開祖・役の小角もここで修行し、その際、不動明王が赤目の牛に乗って現れた事から名前に「赤目」が冠され

ました。実際には四十八以上の滝があり「霊蛇滝」の側には、名前由来となった赤目牛の像が立ち、不動明王の霊示によって入山口近くに開基された「延寿院」には赤目不動尊が祀られています。

赤目四十八滝は忍者の修行場でもあり、その昔百地三太夫や伊賀流忍者が修行する際、先ずこの湧水で身を清め心を鎮めたといわれています。近くに湧く「じゃんじんの水」のいわれは、豊富に水が湧く様子と修験者が持つ錫杖が鳴る音に似ていることから付けられました。

四キロにわたる溪谷には多くの滝がありますが、「行者の滝」「不動滝」「大日滝」等、信仰にちなんだ名前が多く、この一帯を仏教の世界観を表す曼荼羅に見立て、全ての滝を回ることと願っています。

〽岩室温泉近くに湧いた「弘法の清水」〽(新潟県岩室町)

「弘法の清水」は、全国に残る弘法伝説の信仰篤き清水であります。因に、この清水は「弘法大

師が諸国巡錫の際、現在の竹野町集落に立寄り、村人の施しを受けたお礼にと、何時も水不足で困っていた農民のために手にしていた錫杖を土に差し、これを抜くと水が湧き出て窮状を救った」と伝えられています。



「万病に効く霊水」として、今も数多くの信者が訪れているという弘法伝説です。

水質は軟水(硬度四十五)で人体に優しい弱アルカリ性の名水であると明記されています。

仙教が盛んな越後人の人柄か、弘法大師ゆかりの信仰の地という事もあるのか、ここを訪れる人達は、穏やかで順序良く譲り合い乍ら水を汲んでいました。泉は底の砂を舞い上げて湧き出ており、水量豊か。一杯一杯すくい乍ら念仏を唱えている人も居ました。「人の心は仏の心」と清水の脇に

揭示されている言葉がそのまま、この地の信仰にあてはまる名水でした。近々にある「平沢清水」は芭蕉・良寛等、文人墨客の多くが通りかかり、この清水で喉を潤したと言われています。

占例

松戸まつりにて

山田倫子



相談者 女性
相談内容 夫(昭和44年1月17日 生まれ 職業 自営業・マツサージ業)

本命星 五黄土星
月命星 九紫火星
今年五黄土星は、良宮に同会・五黄殺・歳破
現在、長屋の自宅で マツサージを営業しているが、悪徳不動産(相談者曰く)から
立退きを迫られています。店は駅から近く、それなりにお客もついていて、同じ条件で探すと家賃が10倍になり、また、お客も離れてしまうので移転

したくありません。不動産屋は長屋を壊して建物を建てるようです。代替地とか立退き料の話もありません。最初、個人的に無料相談室に相談し、弁護士を紹介されました。「法テラスですか?」

この弁護士さんは良い人に思いましたが、同じ長屋に住む住人(6人)から、大勢で話をしたほうが有利だと云われ、共同で別の弁護士さんを立てましたが、あまり動いてくれないので、不信感を持っていきます。

占的 このまま、ここで営業を続けることができるか?
水雷屯 初爻

坎震
滞る、行き悩む。今は急進せず、相談に乗れる有力な人がいたら代行してもらおうのが得策。
之卦 水地比
人と親しみ、共同して、事をなすのに良し。
回答
時期が早いので急いで解決しようと、軽率に行動しないことです。
「夫は神経的に参って、入院しています。このま

ま続いていいのでしょうか。いつまで待てばいいのですか」(月盤 離宮に四緑木星同会、暗剣殺)このまま営業を続けて下さい。来年の春(2月)から初夏(5月)にかけて変化があります。先ほど言いましたように、今は焦らずに、待ちましよう。

※二人の弁護士について占断(相談者には告げず)
1 共同で依頼した弁護士 沢山咸 2爻
六二と九五が応じているが、今は止まっている状態。現状維持
2 個人で依頼した弁護士 雷沢帰妹 2爻

順序を無視して動けば、手違いあり。
占例
松戸まつり鑑定に於いての感想
長澤光祐

小雨降る中、彼岸花に見送られ松戸まつりに会場へとやってまいりました



た。
十時スタート前から並びはじめ、今年も盛況の予感がする始まりでした。一人の方が、いくつもの問題を持ってこられる場合が多くそれを能くかわしながら、進めてまいりました。

年配の方が、多いと感じました。終了時間が近く、お客様もまばらになり、一人の方が来られて、病気の娘さんが、いくつもの難病にかかり、どの病院で診てもらっても、二十歳くらいまでしか生きられないと言われていたそうです。

現在三十七歳とのこと、この先私達（両親）の財力の問題もあり、あと何年生きるか？との質問でした。

重い占だなあ！と感じながら、念込めて筮を立てました。

得卦が火雷噬嗑の六五得卦が火雷噬嗑の六五でした。六五に貞厲咎得当也（ただしけれどもあやうしとがなきはとうをうるなり。）

内卦の震は、病勢進むとし、外卦離は、心臓として、六五で陰が陽となり、塞がってしまうと考えると、

之卦が無妄となるので、手の施しようが無くなり、命尽きると観ました。また五爻でも有り、死ぬとは言えないので、五年は持ちますと答えました。短い時間での判断でしたのでこれしか考えられませんでした。

鑑定後、背中に汗をかいていました。帰路に付く電車の中で、勉強不足の自分に、後悔頻りでありました。今後は、もっと納得出来る答えが出せる様に努力して参ります。今回鑑定の機会を頂き有難うございました。

松戸まつりに参加して

海老原 葵扇

福田有宵先生と牧野有峰先生から松戸まつりの鑑定に、見学だけでもというお話でしたので、そのつもりで行きました。会場は大先輩の先生方が鑑定をしておりますので、そのうちに福田有宵先生がお見えになり、お昼時の事もあったので、何人かの先生は席をはずし空席になりました。

すると福田先生からお客様が行列を待っているから、是非鑑定をして下さいと頼まれました、

最初の一人りを何とか観させて頂きました。

ひとりを鑑定した時は冷汗で全身びっしょりでした。ひとりで終わるのかと思っていましたところ、また、福田有宵先生が、お客さんが沢山並んでいるので鑑定をして下さいと云われ、さらに、五名程鑑定させていただきました。

まだまだ未熟の私が、良い勉強体験させていただき感謝の気持ちで一杯です。

鑑定を通して得られなかったことは、勉強は無限であることを痛感致しました。

これからも大先輩の先生方のご指導をよろしくお願い致します。 合掌。



善人よ強くなれ

善人にこの際最も大事なことは、善柔・善弱・善怯ではなくて、善にして且つ強くなければなら

ない。パスカルは「正義が強いが、強い者が正義か、正しい者が強くなるか、強い者が正しくなるかより外に人間は救われない」と言うておりますが、救われるためにはどうしても善人が強くなければいけません。強くなるためには、感情的にならずに、線が太くならなければいけません。

NPO通信

○左記の方々から賛助会費としてご寄付を頂戴しました。（敬称略、順不同）

- 半田晴詠、久保田恵都子、斉藤幸子、堀内憲子、小野舞子、安藤忠男、佐藤宗眩
- 九月二十五日（日）三鷹国際フェスティバルに参加。



出演者 福田有宵、佐藤宗眩、山田倫子、八川林加、綿引涼子、えびすや真朱、凜百果、神崎ひとみ、龍妹、福田侑未。十名で鑑定致しました。百四十五名の方を無料鑑

定しました。

○十月一日（土）〜二（日）松戸まつりで無料鑑定会に参加し、

- 出演者（土）福田有宵、佐藤宗眩、濱野延珠、久保田恵都子、長澤光祐、樋口千紘、山田倫子、白土愛真、河野有泉、金子智佳子、凜百果、神崎ひとみ。（日）牧野有峰、牧野朱扇、海老原葵扇、深町由美子、森千沙、八川林加、前田龍徳、半田晴詠、岩崎紀子。二日間の鑑定数は二百八十名の方々を鑑定しました。お疲れさまでした。

事務局だより

次回の例会

- 日時 平成二十九年一月二十八日（土）午後一時十五分より
- 場所 足立区勤労福祉会館「ブルミエ」にて（終了後新年会を予定）
- 議題 平成二十九年度の「年筮の解説、日本社会の動向など」福田有宵先生
- 恒例のお西さま、十一月十一日（金）一の酉に、浅草の長國寺様へ昼夜二回、百四十名余の方々が参拝、酉年の招福を祈りました。

さて平成二十八年も残り少なくなりました。自然災害や凶悪事件など、不安材料が多く生じましたが、来る年は早隠でありますようお祈りしたいと思います。

少々早いご挨拶になりましたが、本年のご協力ご鞭撻をいただきありがとうございます。

会員の皆様にはお元気で新しい年をお迎え下さい。○明年の二月頃に新春のお参りを予定しております。

○九月の有宵会は七十九名の方が参加されました。

事務局 伊藤璃香

編集後記

あつという間の一年でした！
来年も本年同様ご意見や原稿を心よりお待ちしております。お祈りしますのでよろしく御願致します。

良い一年を過ごされませうよう心より御祈願致します。本年もありがとうございます。

編集長 佐藤宗眩